



草原データベースの公開がはじまりました

日本各地にどんな草原が残っていて、どんな状態にあり、どんな人たちが関わっているか、これらの情報を共有することは、全国草原再生ネットワークの大きな目的のひとつです。そのための事業として、各地の草原に関する情報をデータベース化し、ネットワークのホームページなどで公開することにしています。本年度は、目玉事業のひとつとして、草原データベースの公開をあげていました。

先般、試行的ではありますが、これまで収集を続けていた草原データをホームページで公

開しました。

公開している項目のほかにも、有用と思われる項目も収集・整理しています。収集できていない部分もありますので、参考になる情報をお寄せいただくと、データベース充実への助けになります。ぜひ、ご一報下さい。また、データベース作成にあたり、情報を頂きましたみなさまには、お礼申し上げます。

現在、日本各地に草原を地図化する作業に入っています。「全国草原マップ」のようなものが公開できればと思っています。

<現在、公開中の項目>

- ・草原の名称（よみがな）
- ・所在地
- ・参考になるホームページ

※参考ページをご存じのかた、ぜひお知らせ下さい。

<草原データベースとして収集している項目>

- ・左記の項目
- ・利用方法
- ・ボランティアの有無
- ・自然公園などの指定
- ・ビジターセンターや博物館などの周辺施設
- ・関連書籍

各地で草原関連のシンポジウムが開催されています

10月には、草原再生ネットワークに加盟している複数の団体が、10周年など節目の年を迎えます。それに合わせて、記念のフォーラムやシンポジウムが開催されています。

10年以上の長年にわたり、地域に根ざしながら、節目の年を迎えられることは、大変喜ば

しいことです。ネットワークとしては、会長が情報提供に出かけるとともに、後援として、バックアップをさせて頂いています。

このようなフォーラムなどが、草原保全・草原再生を盛り上げる契機になることを願っています。

■森林塾青水 10 周年 草原再生フォーラム

森林塾青水の 10 周年記念として、10 月 23 日、24 日に、草原再生フォーラム「上ノ原は人と生き物の入会地ー暮らしの現場から生物多様性の保全を考えるー」が行われます。

上ノ原は群馬県のみなかみ町にあり、以前のニュースレターでも火入れの様子を報告いただきました。

本フォーラムは、全国草原サミット・シンポジウムのプレ企画として、開催されることになりました。多くの人の参加が、本番のサミットへのステップになると思われます。(事務局)



上ノ原での山焼きの様子

■阿蘇グリーンストック 15 周年 シンポジウム

10 月 8 日(金)、熊本県熊本市内において、阿蘇グリーンストックの 15 周年シンポジウムが開催されました。

「阿蘇草原の多面的価値について」と題されたシンポジウムは、美しい景観や癒しの場としての価値だけでなく、私たちの気づいていない価値について、多くの人に知ってもらおうという内容です。

基調講演として、高橋佳孝氏による「多様な人と生き物が集う阿蘇草原の豊かな世界」、山田敏彦氏による「エネルギー資源作物としてのススキの評価と実用化への課題」の 2 講演が

草原再生フォーラム

「上ノ原は人と生き物の入会地」
ー暮らしの現場から生物多様性の保全を考えるー

【10月23日(土)】
フォーラム・エクスカージョン・交流会
午前：上ノ原の現地見学会
午後：フォーラム

報告提言「上ノ原は人と生き物の入会地ー持続的に保全する仕組みを考える」(海老沢秀夫氏)
基調講演「生物多様性の 10 年ー地域の保全活動がみんなの暮らしを支えるー」(朱宮丈晴氏)
情報提供「全国の草原と保全活動の状況ー森林塾青水の取り組みの特色と期待」(高橋佳孝氏)

【10月24日(日)】
茅刈り講習会・茅刈り検定会
※刈られた茅はみなかみ町藤原地区の神社のかやぶき屋根に使われるそうです。

【問い合わせ先】
森林塾青水 事務局

ありました。その後はパネルディスカッションが行われました。

実施の詳細については、後日、あらためて報告して頂く予定です。



野焼きボランティアの研修会

各地からの報告

【東お多福山草原保全・再生フォーラム（8月1日・神戸大学）に参加しました。】

これまで、草原再生の活動に係われる機会が少なく、よいきっかけと思い参加しました。東お多福山は六甲おろしで有名な六甲山地にあります。150万都市・神戸を抱える六甲は、今では森に包まれています。かつては人の利用により、はげ山でした。東お多福山の草原は、その六甲に残る最後のまとまった草原で、今はネザサで覆われていますが、昔は多くの動植物が見られるススキ草原だったそうです。そして3年前より、かつての草原を取り戻そうと、刈り取り実験や植物調査などの活動が始まりま

した。活動には大都市近郊の草原らしく、4つもの団体が主幹として係わり、さらに多くの団体や企業、研究者、そして行政が携わっているようで、驚きを感じました。結果、115名もの参加者があり、フォーラム会場は後ろまで席が埋まり大盛況！COP10を控え、活動はますます盛んになるでしょう。私も東お多福山草原再生に、少しずつ係わっていこうと考えています。

（横田潤一郎：大阪在住）



草原をめぐる動き（2010年10月～2011年1月）

10/3 伊吹山ススキボランティア（場所：滋賀県伊吹山、連絡先：財団法人淡海環境保全財団）

10/8 阿蘇グリーンストック 15周年シンポジウム（場所：熊本県熊本市、連絡先：阿蘇グリーンストック）

10/23 森林塾青水 10周年記念シンポジウム（連絡先：森林塾青水）

10/24 茅刈り講習会（場所：群馬県みなかみ町、連絡先：森林塾青水）

10/30-31 2010年代のための里山シンポジウム（場所：大阪市立自然史博物館、連絡先：森林総合研究所関西支所）

11/13 里なび研修会 in 熊本県阿蘇市 半自然草原に生き続ける多様な命を守ろう（場所：熊本県阿蘇市）

12/5or12 “復活”ドリーネ畑の周辺の火道切り（場所：山口県秋吉台、連絡先：ほっとビレッジ美東）

※上記以外の情報については、ホームページをご覧ください。ホームページに掲載するイベント情報もお待ちしております。

事務局からのお知らせ

【「全国草原サミットがもたらしたもの」が発行されました】

草原サミットが開催されたのち、開催地でどんな変化が起こったか、その後の草原保全にどのようにつながったか、サミットがもたらした様々な変化をまとめた冊子が発行されました。

正会員（個人会員、団体会員）の方には、会員特典として事務局より送付させていただきます。正会員以外で希望される方は、冊数に応じて必要な切手を同封のうえ、「サミットがもたらしたもの」送付希望の旨、下記住所までお知らせ下さい。正会員でない方は、これを機会に正会員への登録を検討して頂ければと思います。

- ＜同封する切手＞ 1冊：80円切手5枚（送料160円＋冊子代240円）
2冊：80円切手9枚（送料240円＋冊子代480円）
3冊以上（下記事務局まで相談下さい）

＜送付先＞ 全国草原再生ネットワーク事務局（NPO法人緑と水の連絡会議内）

694-0064 島根県大田市大田町大田イ376-1 Tel.0854-82-2727 Fax.0854-84-0262

＜正会員への登録を希望される方は・・・＞

会費振り込み用紙を取り寄せて頂くか、「ゆうちょ銀行 00820-2-120992 全国草原再生ネットワーク」まで、年会費をお振り込み下さい（個人会員 3000円、団体会員 10000円）。



【各種案内を同封します】

各団体でフォーラムやイベントのチラシを作成されると思います。本ニュースレターに同封を希望される方は、事務局まで連絡下さい。次回の発行は来年の1月を予定しています。

全国草原再生ネットワーク ニュースレター vol.4 2010年10月号

全国草原再生ネットワーク事務局

694-0064 島根県大田市大田町大田イ376-1

NPO法人緑と水の連絡会議内 Tel.0854-82-2727 Fax.0854-84-0262

【編集後記】記録的な猛暑が続いた今夏がウソのように、ずいぶん涼しくなりました。各地の草原も、ススキの穂が見頃を迎えているのではないのでしょうか。事務局の近く「三瓶山」では、10月中旬まではススキが、それ以降は紅葉が見頃を迎えます。